

戦後アナキズム運動史年表(二)

(一九四九年—一九五五年)

戸 駒 恒 世

この年表では、作成中に直接見ることが出来た文献のみを資料として採用した。それによってかなりの数の欠落部分がある。新聞・雑誌類の記入に欠号があるのはそのためである。事件・出来事などについても明確な年月日が不明なものは極力記入を避けた。その欠落部分を埋めるための協力をお願いしたい。(連絡はセンター気付で……)

出版活動の中で△平新▽とあるのは「平民新聞」のことである。同紙は東京で129号を発行して廃刊し、その後広島(H)、岡山(O)大阪(OS)福岡県飯塚市(I)と発行所が移っている。

(カッコ内アルファベットは発行地略称)正式に連盟の機関紙となっているのは、平民新聞(東京)——平民新聞(岡山)——平民新聞(大阪)——平民新聞(広島)——自由共産新聞(東京)——平民新聞(飯塚)である。

飯塚で出されたのは他に「自由共産新聞九州版」(後に「九州自由共産新聞」と改題)があるが、これらの△飯塚版▽とも呼べる新聞類は、杉藤二郎ら北九州地協の活動者によって発行されたA3版ガリ版刷りによる4ページのものである。

自由共産新聞(東京)はアナキスト連盟の初の機関紙であるが、

旧連盟からつづくもう一つの団体「日本アナキスト・クラブ」によって発行された「アナキスト・クラブ」がある。同紙は18号より「無政府新聞」と紙名を変更し、後に「無政府主義運動」と再度改称している。

他に「新文化」(名古屋地区)「世紀理論」(大門一樹)が新聞類として揚げられる。

雑誌類には、「アナキズム」「リベルテ」があり、前者は討論誌、後者は研究誌と位置づけられている。大衆啓蒙宣伝誌として「自由市民」が大阪で発行されていたが、11号より「戦争抵抗者インターナショナル(WRI)日本支部機関紙」として発行された。今回掲載分で「ひろば」が創刊されているが、これは第5回大会で決定された「アナキズム」「リベルテ」の廃刊に伴う新しい△総合雑誌▽として企図された。

「国際ニュース」はアナ連国際局責任者・山鹿泰治によって発行され、国際局の仕事としては他にエスペラント版「平民新聞」などがある。

紙誌の内容の中で頭に特別の印のついている論文が幾つかある

が、これは関連論文と理解されたい。

なおこの2回掲載分に関する運動の概略的な解説を次回に掲載する予定なので併読されたい。

年	ア ナ キ ズ ム 運 動	出 版 活 動	社会的状況
1949年			
1・8	三多摩自由人座談会(島津宅)	1・3 平民新聞103号 ○ガンヂーの真相(アチヤリア)	6・10 東神奈川人民電車事件
1・9	研究会(横浜・行木宅)		
1・16	北九州協議会(福岡)	1・24 平新104号 ○総選挙に際して(水沼辰)	
2・2	松木千鶴(遠藤斌夫人)死去	1・31 平新105号 ○悲境の松戸生活擁護同盟	7・4 国鉄第一次首切り
2・15	講演会(広島・琴谷青年連盟の主催)栗原唯一・青山大学が講演	2・1 自由新聞6号 ○代表論(向井)	7・5 下山事
2・20	関西地協(京都)	2・1 リベルテ2号	
2・26	東京地協青年部会	2・7 平新106号 ○根強い自治体のボス勢力	7・15 三鷹事
3・6	松戸で宣伝活動(東京・青年部)	2・14 平新107号 ○浅ましや共産党	
3・9	座談会(塩山・小島宅)石川・遠藤らが参加20名	2・21 平新108号 ○国営人民管理の問題	8・17 松川事
3・14	座談会(山梨・東雲村)石川・他20名	2・28 平新109号 ○中小企業協同連盟への動き	10・19 都公安
4・7	宮城自由人連盟第7回協議会(矢本)	3・1 自由連合特別号 発行・連盟労働運動協議会	件
4・19	青森・岩手・宮城・同志懇談会(仙台)	3・7 平新110号 ○幸福な共同村	
4・24	講演会(松戸・生活擁護同盟の主催)副島・松本・布留川が講演	3・14 平新111号 ○戦争は防止できる	
5・7	アナ連第4回全国大会(芝・労働学園)	3・21 平新112号	
5・8		3・28 平新113号	
		4・1 リベルテ3号 ○アンケート/終戦後の転向の問題について	

5・17	東京地協婦人部会(連盟事務所)	4・4	平新114号	○社会的ストライキの提唱
6・16	九州地方協議会(福岡)	4・11	平新115号	○世界市民権の問題
6・25	東京・青年部総会	4・25	平新116号	○「暁に祈る」事件
6・26	全国生活擁護団体連合会総会(東京・中央労働会館)顧問に岩佐	5・1	広島平民新聞48号	メーデーに際し労働者諸君に訴ふ(栗原)
7・1	アナキズム講演会(福岡・川崎村)主催・貧乏防衛同盟・田形公民館	5・2	平新117号	○日農大会イース争いで分裂
7・3	組織問題研究会(東京・李宅)	5・9	平新118号	○中立労組の動向
7・3	全日本労働組合連盟結成	5・23	平新119号	○第4回大会報告
7・5	アナ連労働運動部会(日労働係者ら)	5・30	平新120号	○大学法反対とボク(大沢)
10・15	アナ連全国委員会(岡山・貿易産業会館)	6・6	平新121号	○岐路に立つ農協
10・16	平民新聞の廃刊が決定	6・13	平新122号	○成長する斗争意識とスト戦術
10・17	演説会(岡山)石川・岩佐も講演	7・1	リベルテ4号	
10・18	演説会(吉備町)	7・11	平新125号	○全日労結成大会
10・22	演説会(広島)同夕(祇園町)	7・11	連盟ニュース3号	
10・23	演説会(可部町)	7・18	平新126号	○産児制限の是非について
11・3	北九州地協会議(福岡)久保が参加	7・18	連盟ニュース4号	
12・15	エスベラントと世界平和講演会(京都・労働会館)山鹿が講演	7・25	平新127号	○東芝の分裂と人民電車事件
		8・1	無政府主義会議6号	○座談「組織問題を語る」
		8・15	平新128号	○反戦特集(石川他)
		8・22	平新129号	○失業問題特集 本号で廃刊
		9・25	広島平新51号	○転換期の労働運動
		10・1	リベルテ5号	

		1950年	
12・24	日本アナキスト連盟東京地協解散	6・20	平新10号(〇) 〇共産党幹部の追放とわれらの態度
9・18	佐竹良雄死去	6・10	平新9号(〇) 〇全国大会宣言
9・10	近畿地協会議 解散のための臨時大会開催を決議	5・20	平新7号(〇) 〇研究特別号
8・10	研究会(石川宅)	5・15	世紀理論4号
8・9	東京地協例会	5・10	再検討
8・6	西日本地協有志が会合(岡山) 東京地協の問題について談合	5・1	平新5号(岡山) 〇今日24時間のゼネストに全力をかける
8・2	学生総協結成される	4・20	平新59号(H) 〇石川さんに答える(副島)
7・1	支局破壊真相発表演説会(鹿児島)	4・15	世紀理論3号 〇世界的波動(小笠原)
6・29	平和講座(東大) 石川が講演	3・20	平新58号(H) 〇起て労働者諸君
5・20	アナ連第五回全国大会(京都・智恩院)	3・15	世紀理論2号 〇平和をまもる斗い(市川白弦)
4・2	岡山地協定例会議 久保が参加	2・10	世紀理論1号 〇世界史の癡視点(小笠原)
2・18	西日本地協代表者会議(広島)	2・10	考察(福田)
2・12	人権尊重・生活権 擁護演説会(松戸市自治会館) 全生連他が主催	2・10	平新57号(H) 〇現下労働運動指標への一
1・25	幸徳一派処刑40周年記念講演会(東京・文化学院講堂) 石川・岩佐・添田・布施らが講演	1・20	平新56号(H) 〇法廷で検事を裁く同志・吉原
1・5	関西地協会議(笠原宅) 久保が参加	1・1	平新55号(H) 〇民同派の新戦術によせて
		10・10	無政府主義会議7号
		12・10	平新53号(広島平新より改題)
		12・20	平新54号(H) 〇凋落期の産別大会
		7・11	成 始
		7・28	焼失 報道部
		7・2	金閣寺
		6・25	争 発 朝鮮戦
		2・13	都教育 庁でレッド
		1・6	共を批判 フォルム日
		7・28	門からレッ
		7・11	総評結

1951年	
10・14	アナ連第一回代表者会議(石川宅)
7・1	クラブ月例会(佐野宅)以後月一回アナキスト・クラブ月例会が開催される
6・9	アナキスト連盟結成大会(東京・石川宅)
6・3	日本アナキスト・クラブ結成(平岡宅)
4・9	中国地方協議会(岡山・後樂園)副島が参加
2・20	無政府主義演説会(佐賀・浜町)
1・27	全日本アナキスト連盟第3回結成準備委員会(岡山)
7・10	平新12号(0) ○集会・デモ禁止と労働組合
7・20	平新13号(0) ○平和をまもるためにはどうするか
8・20	平新16号(0) 討論(植村・近藤・萩原・山口健二・高畑)
9・15	近畿地協会議決報告(京都・大阪・岡山・兵庫の各地協) 臨時大会開催の要請
9・25	平新17号(0) 討論(島津・長谷川・山口健二)
12・25	平新18号(0) ○全日本アナ連準備委草案
3・31	平新19号(大阪) ○講和論議を前にして(副島)
4・25	平新20号(SOS)
5・25	平新21号(SOS)
6・5	平新(横浜地区版) 1号
7・15	自由共産新聞1号 ○アナキスト連盟結成宣言 発行・アナキスト連盟(以下自共と略す)
8・15	自共2号 ○8・15を世界の終戦記念日に
9・1	自共3号 ○講和問題特集臨時号
9・1	アナキスト・クラブ1号 ○日本アナキスト倶楽部結成にあたって(水沼) 発行・日本アナキストクラブ(以下クラブと略す)
4・11	マッカ
4・24	桜木町
9・1	民間放送
10・24	社会党
11・19	対日平和・安保条約批准

1952年

4・3・4 アナ連第二回大会(関西総局)
4・5 松尾邦之助を送る会

9・10 自共九州版1号 ○炭労問題 発行自由共産新聞社

9・25 自共九州版2号 ○労働組合幹部の横顔(日鉦福連)の巻

10・1 クラブ2号 ○非アナキストの弁(立川)

10・15 自共4号 ○最近の右翼の動向(朝鮮人・中国人を守れ)

10・15 九州自共4号 ○農民の自覚と労働者の提携必須

10・25 九州自共5号 ○労組は協同戦線で資本攻勢を打ち破れ!

11・1 クラブ3号 ○国家の正体をつかめ

11・15 九州自共7号 ○誰のためのストか

11・25 九州自共8号 ○殆んど不在の町村長

11・25 自共5号 ○炭鉦スト・取引き商人となった組合幹部

12・1 クラブ4号 ○天皇の利用価値(岩佐)

12・5 九州自共9号

12・15 平新(九州自共改題) 飯塚にて発行以下()
○警戒せよ右翼運動と軍隊化

12・25 平新2号 ○階級問題(副島)

1・1 クラブ5号 ○「相互扶助論」の方法について(小川)

2・20 事件
ポポロ

4・13 水沼辰夫遺暦の会（滝野川公民館）石川・岩佐・山崎今朝彌らも参加
 6・21 近代学校復校の為の会合（石川宅）
 10・18、19 アナ連第2回全国代表者会議（東京）流会
 11・16 アナ連阪神地方協議会結成（神戸・兵教組会館）

4・5	平新3号（I） ○農協の健全発達を期せ	5・1	血のメ
4・1	自共6号	7・19	デー事件 ヘルシ
4・1	平新4号（I） ○再軍備拒否	7・21	ンキオリン ピック開催
4・5	平新5号（I） ○非民主的な民主主義（副島）	7・21	破防法 公布
2・5	平新6号（I） ○サンジカリズム（P・サ ンソム）	9・24	電産ス トライキ
2・15	自共7号 ○労働者家族組合の結成と小地区 毎の人民闘争	10・13	炭労ス トライキ
2・15	平新7号（I） ○自由への道（P・ブラン ト）		
2・25	平新8号（I） ○小説「箱の中」（杉けい 子）		
3・5	平新9号（I） ○ロシアの共産主義は国家 資本主義である（アチャリア）		
3・15	平新10号（I） ○平和の力学（石川）		
3・25	自共8号 ○燃える徴兵拒否の斗い		
3・25	平新11号（I） ○自衛力は是か非か		
4・1	アフランシ11号 ○属国と独立国（村松） 発行・自由クラブ		
4・1	クラブ6号 ○国家は社会の寄生者だ（岩佐）		
4・5	新文化1号 ○事大迎合民族（市川） 発行 人・伊串英治		
4・5	平新12号（I） ○不協力不服従		

- 4・15 平新13号 (I) ○世界市民
- 4・25 平新14号 (I) ○破防法
- 5・1 クラブ7号 ○破防法とメーデー (水沼)
- 5・5 平新15号 (I) ○戦争挑発者は誰
- 5・15 平新16号 (I) 休刊
- 5・25 平新17号 (I) ○新聞の反動性
- 5・25 平新 (関西版) 1号 ○第2回大会
- 5・25 平新 (中央版) 号外 ○メーデー人民広場事件
- 6・5 新文化2号 ○破壊即建設
- 6・5 平新18号 (I) ○直接行動 (ゼネスト) に起とう / ○附録「平和憲法防衛宣言」 (京都学生エス連)
- 6・15 平新19号 (I) ○警察権力の横暴まさに狂人沙汰 ○附録「無国民主義者宣言」 (ランティ)
- 6・25 平新20号 (I) ○職場にはスト委を青年は行動隊を ○附録「スペインにおける集団化」 (G・レヴァル) ○関西版「フランクコに対する国際抗議運動報告」
- 7・5 平新21号 (I) ○共産党の武力活動
- 7・10 新文化3号 ○戦争とアナキスト (大沢)
- 7・15 平新22号 (I) ○労斗ストを省て○附録「サンジカリズム」 (P・サンソム)

- 7・25 平新23号 (I) ○破防法施行に当たって
○附録「国際版」
- 8・5 平新24号 (I) ○8・6を世界の記念日に
- 8・15 平新25号 (I) ○戦争だけはもうよそう！
- 8・25 平新26号 (I) ○粉碎された商業新聞のデ
マ
- 9・5 平新27号 (I) ○10・1総棄権・一人残り
ず投票するな！
- 9・5 新文化4号
- 9・15 平新28号 (I) ○選挙にウツツを抜かして
革命を骨抜きにされるな
- 9・20 クラブ8号 ○軍備を拒否せよ(水沼)
- 9・25 平新29号 (I) ○平和への熱願は……(B
・C級戦犯者)
- 10・10 平新30号 (I) ○投票によって支配力を破
壊することはできないのだ！
- 10・15 平新31号 (I) ○誤れる民族独立斗争論
- 10・25 平新32号 (I) ○生れ出た新ファシズム
- 10・28 アナ連第2回全国代表者会議決定報告
- 11・15 平新34号 (I) ○電産・炭労ストを見殺し
にするな
- 11・20 新文化5号 ○スペインの真相を自由人に訴
う
- 11・25 平新35号 (I) ○思想の動脈硬化(戸田)
- 12・1 アナキズム1号 ○電産・炭労ストの教える

1953年

12・2	11・15	11・14	10・11	9・16	9・13	2・2	1・4
東京自由人の会結成 久保ら	新居格追悼会(杉並・新居宅)	田戸正春・宮島資夫追悼会(上野・桜亭)	せられる 組を提起連盟の事務局編集局が関西地協に任	大杉栄30周年記念集会(近藤宅)	布施辰治死去	反戦平和年賀状展(姫路)	アナキスト・クラブ新年会(目黒・女屋宅)
2・20	2・15	2・5	1・20	1・15	1・15	1・10	12・25
アナキズム3号 (長谷部) ○失業者運動の新しい建設を(堀田)	平新42号(I)	平新41号(I) ○ダレス演説の意味するもの	クラブ9号 ○電産・炭労のストライキ(水沼)	自由市民1号 ○平和のための革命(山口英)	平新39号(I) ○小説「敵意ある遊星」(ガレリ)	アナキズム2号 ○生産管理とコンミュン建設へ(小山) ○アナキズムと世界政府(大峰) 国家論1(大沢)	平新38号(I) ○炭労ストについて
							12・15
							平新37号(I) ○反戦平和の年賀状交換についての提案
							12・5
							自由市民(号外) ○関西アナキスト結集発行・自由市民社
							12・5
							もの ○スターリン主義への一評価(北村) 平新36号(I) ○農協法改正の意図するもの
							2・1
							テレビ放送開始
							3・5
							スターリ
							3・14
							国会バカ
							6・13
							内灘で坐りこみ

- 2・25 平新43号 (I)
- 3・10 アナキズム4号◎平和は平和的手段によつてのみもたらされる(鈴木) ○連盟の組織活動について(原)
- 3・15 平新44号 (I) ○スターリンの逝去
- 3・25 平新45号 (I) ○平和と投票の拒否
- 4・5 平新46号 (I) ○選挙戦に際して(副島)
- 4・15 平新47号 (I) ○イカサマ議員訓
- 4・25 平新48号 (I) ○かくされていたロシア革命史1
- 5・10 平新49号 (I) ○ロシアの強制労働収容所
- 5・15 平新50号 (I) ○かくされていた…2 (副島)
- 5・25 平新51号 (I) ○かくされていた…3 (副島)
- 6・10 新文化7号 ○レーニン廟
- 6・20 クラブ10号 ○反フランコ分子を大弾圧
- 7・10 自由市民2号 ○今日の労働運動に欠けているもの(高島)
- 7・10 自由市民3号 ○売春と買春
- 9・10 自由市民4号 ○公務員問題特集
- 9・15 アナキズム6号 ○内灘問題特集 ○討論1 「民族斗争」(向井・土居) 討論2 「新しい中国」(毛利・八島・SAT・山鹿)
- 10・10 自由市民5号 ストライキと市民

<p>1・24 幸徳記念会（東京）クラブの主催 4・10、11 アナ連第4回大会（静岡・大瀬岬）組織論の問題が論議される W・R・Iに加盟を決定 6・12 今村力三郎死去 6・2 上野克己死去 7・29 山崎今朝彌死去 8・5 山崎今朝彌追悼会（綿引宅）クラブ主催 8・17 アナ連東日本協議会 9・9 無政府主義演説会（岩手・花巻公会堂）岩佐が参加 クラブ主催 9・16 大杉栄の会（東京・モナミ） 10・21 吉田兄次出版記念会（上野・桜亭） 10・23、24 ビキニの灰街頭展（大阪・阪急天六駅頭） 10・26 アナ連 戦争抵抗者インターナショナル（WRI）に正式加盟</p>	<p>11・10 自由市民6号 ○反戦は教育の中心 11・20 クラブ11号 ○松川事件に見る 12・1 アナキズム7号△組織問題特集▽ 12・10 自由市民7号 ○京都学生事件の真相</p>	<p>3・1 ビキニ水爆実験で第五福竜丸被災 4・21 造船疑獄 4・22 全労会議結成 6・4 近江絹糸</p>
<p>1・1 アナキズム8号 △組織問題特集▽ 1・10 自由市民8号 ○淀川製鋼越年闘争 1・20 クラブ12号 2・1 アナキズム9号 ◎組織問題 ブルガリア 2・1 アナキスト・ユニオンよりのアンケート 2・20 クラブ13号 3・1 アナキズム10号 ◎アンケートへの答え（京阪神地協・大沢） 組織問題（杉藤） 3・10 ○無政府主義私観（井原） 3・10 リベルテ10号 ○スウェーデンのサンジカリズム（イスラエルの同志） ○労働者と資本家との対話（山鹿） 4・10 アナキズム11号△大会準備号▽ 4・10 リベルテ11号 ◎社会理論としての自由共産主義（ブルガリア・アナキスト・ユニオン） ○アナキスト建設構想（マキシモフ） 4・20 クラブ14号 ○中小企業と労働運動の方向 4・10 全世界の勤労者・農民及び自由と平和を愛する世界の良識に訴え諸君と共に米ソ両国</p>	<p>6・4 近江絹糸</p>	

の支配者に抗議する！

(米ノ核実験への抗議文) ☆アナ連第4回大会の決議

5・1 自由市民9・10合併号 ○ビキニ水爆実験抗議文

5・10 アナキズム12号 △大会報告(小川・大峰・久保・副島・大沢・福井・向井)

5・10 リベルテ12号 ○協同組合の意義と運営(クラット) ○世界市民党(G・デビス) ○コミュニケーションとアナキズム(大沢)

6・1 アナキズム14号 ○憲法改悪国民投票について(北九州地協) ◎アナキストインター議題について(京阪神地協) △組織についての雑感(土居)

7・10 アナキズム15号 ○ビキニの灰街頭展報告(イオム同盟) ◎自由共産主義者インター大会報告・規約(ICL)

7・20 クラブ15号

8・10 アナキズム16号 ○国会の醜態に(大沢・蟹江) ○賃金問題(山鹿) ○ソ連農業政策の変異について(小川)

8・17 平和運動に対する基本方針案(東日本地協)

9・10 アナキズム17号 ◎関西学派とは何か(桔梗) ○救く者が裁かれる(高島) ○クロの最後の所論(久保) ○アメリカアナキストマニ

1955年	
<p>1・23 幸徳記念の会（岩佐宅）クラブ主催</p> <p>2・6 全国会議準備会（岩佐宅）</p> <p>3・20 全国会議準備会（岩佐宅）</p> <p>4・15 全国会議準備会（岩佐宅）</p> <p>4・17、18 全国アナキスト大会 第1日セメント労働会館 第2日民謡クラブ会館 アナ連・クラブ合同問題について懇談</p> <p>5・3 クラブ例会 会称をアナキスト・クラブから無政府主義運動に変更</p> <p>7・10 李亨秀死去</p> <p>7・5 軍事基地化反対演説会（立川市公会堂）主催 ・無政府主義運動</p>	<p>9・20 クラブ16号 ○山崎さんの思い出（水沼）</p> <p>10・1 自由市民17号（WRI日本支部機関紙となる）</p> <p>○WRIその成立と思想的発展</p> <p>10・10 アナキズム18号 ☆アナ連とクラブ（鴻野）</p> <p>◎K氏へのお答え（小川） ○街頭展寸感（中原） ○街頭展にて（山口英） ○同志アチャリアを悼む（山鹿）</p> <p>10・25 自由市民号外 ○広島・長崎・福竜丸</p> <p>11・1 自由市民12号 ○ピキニの灰街頭展</p> <p>12・1 自由市民13号 ○水爆は戦争をなくするか</p>
<p>1・10 アナキズム19号 ☆アナ連・クラブの問題（伴・福田・本多・原田） ○原水爆問題について（小川）</p> <p>1・10 リベルテ16号 ○民族独立と社会革命（山鹿） ○ささやかな恐怖から（成瀬）</p> <p>2・10 アナキズム20号 ◎アナキズムと自由共産主義の問題（大沢） ◎CRILJL回状</p> <p>◎自由共産主義インターの考え方について（小川） ☆連盟・クラブの問題（大木・福井・大沢）</p> <p>3・10 アナキズム21号 ○機関紙問題（伴・崎本・大沢） ☆アナ連・クラブの問題（山口</p>	<p>7・9、26 総評、太田・岩井</p> <p>7・27 ライン成立 共産党 六全協</p> <p>8・6 原水禁 世界大会</p> <p>9・13 砂川の強制測量開始</p> <p>10・13 社会党 統一大会</p>

9・24、25 アナ連第5回大会(近藤宅)
 9・25 岩佐老喜寿を祝う会(綿引宅)
 10・23 逸見直造38回忌記念集会(大阪・中之島公会堂)
 10・25 朝鮮九同志追悼会(小石川・涵徳亭) 自由人クラブ主催
 11・28 添田啞蟬坊顕彰碑除幕式(浅草寺)

3・15 英・成瀬
 クラブ17号 ☆全国大会の提唱
 4・10 アナキズム22号 ○不平等性理論1(青島)
 ○今後の労働運動について(高島) ☆だれがアナキストか(鴻野)
 6・1 黒涛1号 ○メーデーとぐるみ斗争(大沢)
 発行・邦創平
 6・10 アナキズム23号 ◎分裂は起らなかった(CRIA) ○われわれの革命観(フォントン)
 6・15 無政府新聞18号(アナキストクラブより改題)
 6・ 世界市民1号 ○世界市民宣言
 7・10 アナキズム24号 ○生産性向上の手に乗るな(山鹿)
 7・10 国際ニュース1号(アナ連国際局) ○第3の道会議の報告
 7・20 国際ニュース2号 ○自由と組織(ウドコック)
 7・30 国際ニュース3号 ○ヒューマニズムと革命(オブレラ)
 8・15 抵抗者2号(発行・青木弘) ○車中宣伝から囹圄生活まで(小山)
 9・16 抵抗者3号 ○大杉虐殺三十三周年記念
 9・25 無政府新聞19号 ○権力のある限り基地問題は続く
 10・15 世界市民2号 ○世界市民の盟約

研究会だより

○ 戦後のアナキズム運動史をテーマに、一月から研究活動に取り組んできた。とはいっても、ここ二ヶ月ほどは会合もたれず幾分緩み気味なのである。研究会としての成果は、今年一年の活動期間で年表と資料集という形にまとめる予定である。

○ これまで二回にわたって年表を掲載してきたが、これ以降（アナ連の解散まで）の分は今後二回にわけて掲載していく。資料的な面での不備や、まだ十分にこなしきれていない点も多いし、また、個々の事項の検討を後回しにしていることなどもあって、我々にしてもまだまだ不満の点が多い。資料面の補足、助言、批判をお願いします。

○ 研究会の仕事としては、年表と資料集の作成に全力を集中し、メンバー個々人の批判や論はとりあえずは個人的な立場で行うことにしている。この面での発言がそろそろ出てくると思うが、これは十分に期待できる内容をもっているだろうと思う。

○ 批判とか、論争といった活動は本来きわめて創造的な契機をはらむものであったが、我々はそうした活動の経験に乏しく、またそうした蓄積をもっていない。このことは同時に、戦後の運動史をみるときに、一つの重要な視点を示唆することになる。そ

10・25
12・1

無政府新聞20号

ひろば1号（発行・ヒロバの会）

○平和を

求めるもの（崎本）

○H・リードの社会哲

学（大沢）

○ひろばをどうのぼすか（山口

英）

○附録・「無政府主義経済学」

して、今後さまざまに展開される戦後の運動に対する批判なり論争において、発言し批判する人は同時に自らをそうした矢面へと置くことになる。このことはまた、今後の活動と運動すべてに言い得ることであり、そのための方法と手段を探りつつ、身につけたいと考えている。

○ 朱に交われれば……の喩ではないが、いつの間にか染っているのではないかなという気持がある。これはつい最近になって、一緒に活動している人の発言のなかに我々が常に批判の眼をもってみてきた戦後の運動の体質に通じるものを感じたからである。これはほくも含めて問題であるだろう。そしてそのためにも、ぼくたちが批判的にみたり、反発したり、ときには否定的に考えた戦後のアナキズム運動を、理論的に検証する必要がある。公開の場に引き出し、論理的言語に置き変えていくことがその第一歩であると思う。

○ いくつかの意図をもって、また研究会を名乗りつつ年表作成の仕事に取り組んできたが、まだ十分な体勢が出来ていない。関心ある人の参加は歓迎します。年表がほぼ作成されているので、これを機会に研究会の進め方を改めていきたいと考えています。